

## 第8回義肢適合支援のあり方研究会のご案内

### I. 開催趣意

下腿切断者に対する義肢装着適合や歩行練習における技術介入には高い専門性と実践力が必要とされています。またその支援には適合の良い義足を提供する義肢装具士と、切断者の身体機能を調整する理学療法士による専門職連携がもっとも必要とされる領域であります。

そこで本研究会は、切断者の方にモデルとなってもらいより良い適合ソケットの採型からソケット適合やアライメントチェックおよび調整、歩行練習に至る一連の義肢適合支援の技術講習を行ない、切断のリハビリテーション介入や支援技術について、実践して、評価して、アセスメントをする思考過程を受講者とともに考え、より良い義肢適合支援のあり方を探求したいと考えております。

### II. 日程

日時:平成28年2月7日(日) 10:00~17:00(受付 9:30~)

場所:ウエスタ川越 活動室2(JR川越線、東武東上線「川越駅」西口より徒歩約5分、  
または西武新宿線「本川越駅」より徒歩15分)

### III. 講師

原 和彦 (埼玉県立大学; 理学療法士)

石倉 祐二 (元石倉義肢製作所; 義肢装具士)

その他実技講師12名

### IV. 内容

義肢適合支援の基礎理論と実践に関する講義、ケーススタディー、TSB-P ソケットの採型実技(修正、補強)、ソケット適合評価・義肢アライメント評価、初期歩行練習(評価、治療)

※講習会当日は白衣着用のこと(ただし、上衣だけでよい)

### V. 対象

義肢装具士、理学療法士、その他義肢支援関係職種

### VI. 定員

実技希望者12名前後(先着順)、実技見学者20名(先着順)

### VII. 参加費

実技希望者 10,000円(プラスチックソケット材料費、テキスト代、昼食代込み)

実技希望者外 4,000円(テキスト代、昼食代込み)

### VIII. 開催

義肢適合支援のあり方研究会、専門リハビリテーション研究会補装具研究部会 共催

**IX. 問い合わせ・申し込み先**

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

埼玉医科大学総合医療センターリハビリテーション部 担当：三本木、武井

TEL：049-228-3529 E-mail：[gisoku.arikata@gmail.com](mailto:gisoku.arikata@gmail.com)

下記必要事項を記載し、**E-mail**にてお申し込み下さい。

必要事項：①氏名（フリガナ） ②職種 ③経験年数 ④所属 ⑤実技または見学の希望

※申し込み期日は2016年1月29日（金）まで（先着順）とさせていただきます。

# 研究会プログラム

平成28年 2月7日(日)

受付

9:30~10:00

午前の部 (10:00~12:30)

開会の挨拶 世話人 原 和彦 10:00~10:05

講 義

1. 基調講演 義肢適合支援の基礎理論と実践 10:05~10:15

講師 原 和彦 (埼玉県立大学; 理学療法士)

2. ケーススタディー 10:15~10:35

指定発言1 JR 東京総合病院

発表者 田中 菜生

指定発言2 埼玉医科大学

発表者 三本木 光

3. TSB 制作過程の説明 10:35~10:45

説明者 斎藤 孝道 (獨協医科大学越谷病院; 理学療法士・義肢装具士)

4. 断端評価・TSB 採型実技 11:00~12:30

実技指導講師 石倉 祐二 (元石倉義肢; 義肢装具士)

原 和彦 (埼玉県立大学; 理学療法士)

実技指導補助

井上 和久 (埼玉県立大学; 理学療法士)

岡安 健 (東京医科歯科大学医学部付属病院; 理学療法士)

斎藤 孝道 (獨協医科大学越谷病院; 理学療法士・義肢装具士)

寺村 誠治 (JR 東京総合病院; 理学療法士)

豊田 輝 (帝京科学大学; 理学療法士)

新妻 晶 (昭和大学藤が丘病院; 理学療法士)

宮城 新吾 (JR 東京総合病院; 理学療法士)

吉葉 崇 (JR 仙台病院; 理学療法士)

出井 裕司 (幸和義肢研究所; 義肢装具士)

大木 壽 (あやの義肢; 義肢装具士)

永橋 愛 (JR 東京総合病院; 理学療法士)

藤倉 雅 (啓愛義肢材料販売所; 義肢装具士)

お昼休み (12 : 30～13 : 30)

午後の部 (13 : 30～17 : 00)

6. TSB 採型実技(続き) [組み立て～歩行・適合チェック] 13 : 30～17 : 00

7. 閉会の挨拶